

『原発再稼働を止め、「国に責任あり」の判決を 勝ち取るために、あらゆる分野から取り組もう！』

7/27(日)9:30~12:30 相模原市民会館(第2大会議室)

参加費:1500 円(非正規労働者・障がい者・学生など 700 円) / ZOOM 参加 700 円

*7/26~27 の2日間参加費は 2500 円(非正規労働者・障がい者・学生など 1500 円) / ZOOM 参加 700 円

詳しくは、ZENKO の HP (<https://zenko-peace.com/2025zenko>) をご覧ください。

【今年の分科会のテーマ&ゲスト】

*原発再稼働を止める

小木曾茂子さん(※オンライン参加)

- ・ 柏崎刈羽原発再稼働の是非を住民投票で決める会世話人 / 請求代表者
- ・ さようなら柏崎原発プロジェクト代表 長岡市在住
- ・ 2018 年「脱原発大賞」受賞(原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟主催)



*「国に原発事故の責任あり」 6.16 最高裁包囲行動後の闘いをどう展開するか

村田弘さん

・ 6・17 最高裁共同行動 2025 実行委員会・事務局長

・ 原発損害賠償かながわ原告団長。原発被害者訴訟原告団全国連絡会・共同代表

*再エネ要求運動 竹村英明さん(※オンライン参加)

- ・ 広島生まれ。議員秘書、環境団体を経て、2014 年に市民電力連絡会設立。
- ・ 2015 年に発電のイージーパワー(株)、2017 年に新電力グリーンピープルズパワー(株)を設立。2019 年に小売電気事業登録。

一昨年の617最高裁不当判決以来、東日本を含む全国原発再稼働が一斉に狙われています。しかし世論は原発を認めていません。柏崎刈羽原発の再稼働を巡り、新潟県の住民投票を求める署名運動は法定数を大幅に超える署名を集め、再稼働に反対する世論の強さを示しました。また今年も不当判決を覆すため、6/16 最高裁包囲ヒューマンチェーン行動が大規模に取り組まれます。これらの運動を一層発展させる方向を、運動の先頭で取り組んだ**小木曾茂子さん、村田弘さん**とともに討論します。

再生エネルギーが世界で急速に普及する中で、日本では政府と電力会社が原発推進、火力を温存して再エネ発電を抑制する逆行姿勢です。しかし再エネの気候変動対策としての優位性は明らか。これを普及させる要求が反原発運動に不可欠です。**竹村英明さん**の講演と討議で原発・化石燃料への対案として再エネ発電の展望を学習し、運動の支柱の1つに位置づけましょう。ご参加ください。

ZENKO【平和と民主主義をめざす全国交歓会】反原発実行委員会

連絡先: 小山 070-5653-7886 nobiscum@wb4.so-net.ne.jp